

広報  
**おぎかわ**

2024. 9. 15 第211号  
 発行者 荻川コミ協  
 発行人 窪田吉衛  
 電話 (24) 5776

荻川の人口	世帯数	7,225戸
	人口	18,072人 (前年同日比-7人)
	男性	8,782人
	女性	9,290人
		(2024年7月末日現在)

- 荻川を1つの隣組に
- 荻川総ボランティア
- 寝たきりゼロの健康のまちづくり

**芸能祭**

**荻川地区芸能祭**

今年の荻川地区芸能祭は、6月23日に荻川地区の町内会長さん等、多数の御来賓にご臨席いただき開催しました。

例年、来場者は演目が進むとともに少しずつ増えますが、今年は開会時から駐車場は満車で会場はほぼ満席となりました。荻川地区のみならずの芸能祭の関心の高さを感じることができました。

ステージ内容は、音楽、マジック、空手、ダンス等多彩で、演目の始まりと終わりには盛大な拍手が送られました。出演者もイキイキとした姿で演技等を行い、特にフィナーレとなる子供さんのダンスやコミ協音頭の時には、出演者と来場者が一体となり、会場は活気に溢れていました。来場された方は満足いただけたいと思います。

また、芸能祭を開催するにあたり、会場設営や後片付けは、文化教養部を中心に各専門部、関係サークル、事務局の皆さんの協力を得て、例年以上にスムーズに、かつ短時間に行うことができました。

最後に、関係各位に感謝するとともに、次年度以降も、コミ協として芸能祭を継続し、少しでも荻川地区の活性化に貢献したいと考えております。

文化教養部長 圓山史一



### 女性部餅ちぎり講習会について

7月7日(日)に来るべき「荻川まつり」に備え、餅ちぎり講習会を昨年引き続き開催しました。チョットした肩慣らし程度かな? 18名の女性部員が参加しました。前日からもち米は「昼夜水に浸し、小豆は前日から時間をかけて弱火で煮込んで準備をしました。よもぎを蒸してもち米に混ぜた香は懐かしいものを感じました。もち米を餅つき機でこねて取り出す時と、餅をちぎる時は熱くてなかなか触れませんが、経験を積んだ先輩方から方法を聞いて、何とかできるようになりました。



ちまきを巻く時は、昨年同様に「二年も経つと忘れてしまうわ!」という言葉があり、「私も! 私も!」と大声で笑い、お互いの顔を見合っていました。女性部では、本番の「荻川まつり」に向けて準備は万全です。任せて下さい。最後に参加して頂いた皆さん、お疲れさまです。本番もよろしくお願ひします。(女性部 K)

### 参加者を募集しています 荻川やすらぎの間

「荻川やすらぎの間」では、高齢者の皆さんが仲間やスタッフと一緒に健康体操やお茶会、ゲームなどで楽しいひとときを過ごしています。大勢の皆様参加をお待ちしています。送迎をご希望の方は、ご相談ください。(地区社協)

- ・開催日時 毎週水曜日午後1時から3時15分
- ・開催場所 荻川コミセン機能訓練室
- ・参加費 200円(茶菓代等)
- お問合せ: 荻川コミセン24-5776



### コミセン構内・西公園 一斉除草実施

7月28日(日)早朝6時よりコミセン利用各団体各専門部役員など総勢120名の参加によりコミセン構内・西公園の一斉除草樹木剪定作業が行われました。当日は心配された雨も降らず曇り空の除草日和となりました。それでも梅雨明け前の蒸し暑さの中、大勢の皆さんの協力により、コミセン構内・西公園とも大変きれいになりました。刈り取られた草や枝で公園内に山が出来ました。後日業者により回収してもらいます。参加された皆さん大変お疲れ様でした。(環境整備部)



### おぎかわ寄席の開催(女性部)

7月21日(日)「おぎかわ寄席」を昨年引き続き開催しました。梅雨時でジメジメした天候でしたが、90名の大勢の皆さんからご参加いただきました。水都家艶笑師匠を筆頭に三流亭翠々さん、春野夢人さんの三名による出演でマジックを皮切りに日本の伝統芸能の落語で参加者を魅了しました。



参加者の皆さんは、この梅雨空を吹く飛ばすような、大きな笑い声で終始喜んで貰ったようです。「笑う門には福来る」という言葉があり、皆さんに多くの幸が多く転がら込んでいくように祈念いたします。ご参加頂きました皆さま、準備、後片付けをご協力頂きました生活福祉部の皆さん、女性部スタッフの皆さん、大変ありがとございました。(女性部 K)

### 頼間リヨ 荻川出身漫画家

私が漫画家をめざした理由は、小学3年生の頃です。月刊誌の少女漫画を初めてクラスの子たちに見せてもらい、衝撃を受けました。そこから初めはその漫画の模写をしたりしていましたが、いつからかオリジナル漫画を描きたくなり、コピー用紙にホッチキスでとめた小冊子を作り、クラスの友人に見せていました。その頃から将来漫画家になりたいと思うようになりました。そこから、小学6年生になると「新潟マンガ大賞」という賞があるということを知り、母に頼み込んで漫画のセットを買ってもらいました。夏休みに作描き上げ投稿した作品が「審査員特別賞」を受賞しました。道具の扱いも慣れない中何度も墨汁をこぼして怒られていたのを覚えています。そんな中でも作品を完成させています。自分の自信へと繋がり、同時に家族からも漫画を応援してもらいました。途中イラストを描くのにハマりしっかりと漫画を描こうと思直したのが20歳の頃ですが、担当さんがついていたこととプロを目指すという実感が湧き、現在に至ります。

昔から絵を描くことが大好きで、漫画家を夢にみていたので叶えることが出来ると嬉しです。また、夢を叶えるための努力が出来たのは、家族に認められていたのも大きな要因だと思います。これからは漫画家としてステップアップできるように精進します。



### 認知症について学びました 荻川地区認知症講演会を開催

荻川コミ協では、認知症のことや認知症の人との関わり方について理解していただくため、7月7日荻川コミセンで「荻川地区認知症講演会」を開催しました。講演会には、日ご高齢者と接する機会が多い自治会長、町内会長、民生委員児童委員、協働員、コミネット見守り協力員、コミ協役員約60人が参加しました。講師の「公益社団法人認知症と家族の会」新潟県支部副代表の等々力務様から、認知症の人や家族の想い、認知症の人との関わり方について自身の体験や活動事例を通じた具体的なお話をいただき、超高齢化社会の中で地域として認知症と向き合っていくことの大切さを学ぶことができました。(地区社協)



### 高齢者スマホ教室

文化教養部では、7月4日と11日の二日間、わたりとさとうICTサポートの佐藤氏を講師に迎え、高齢者向けスマホ講座を開催しました。この講座は、二年前に開催した際に好評を博したことから、令和6年度も開催することを決定しました。参加者の募集は、実務的な操作を行うことから定員を二五名と設定し、回覧板で募集したところ、募集開始当日に定員に達しました。地域の関心の高さがうかがえました。地域の、実際に基本操作の練習を行いました。二日目は、メールやLINEの操作について学び、実際にそれらを使っている操作練習を行いました。



講座の始めには文字入力力が難しかった受講者の中にも、LINEをある程度使いこなせるようになった方が見受けられ、大変有意義な講座となりました。最後に、平日にもかかわらず受講者のサポートをしていただいた文化教養部員の皆様に、心より感謝申し上げます。文化教養部長 圓山史一

### 二中だより

ひとつ屋根の下で、地域とともに②  
新津第二中学校 校長 貝塚敦

- ◆「共に高まる」自信をもって歩む子ども
- ・自己調整力 ・読み解く力
- ・思考する力 ・人間関係形成力

- ◆「立志」を育み「気概」を養う
- ・目的を定めて成し遂げようとする力
- ・困難にくじけない強い意気

- ◆元氣よく仲良く遊ぶ子ども
- ・主体的に人・もの・ことに関わり
- ・夢中になって遊ぶ子ども

- ◆自立 協働 向上
- ・傾聴 ・共感力 ・表現力
- ・発表力 ・コミュニケーション能力

これらは順に、荻川小・結小・結幼稚園・新津二中の教育目標及び育てたい子どもの姿や身に付けさせたい資質能力の中身です。そして、各園校の現状と課題、保護者地域の願い、それぞれが掲げる教育ビジョン等を総合的に勘案し、当新津第二中学校区全体の目指す子どもの姿を「目的意識を持ち、他と協力しながら、主体的に未来を切り拓くたくましい子ども」と位置付けていきます。

そのため、各園校が単独で頑張るのではなく、地域特性や教育環境、課題を踏まえた柔軟な取組、幼小中を見通した系統性・体系的な教育活動、いわゆる幼小中貫教育の推進に向けて、連携協力を密にした様々なプログラムを四校がスクラムを組んで取り組んでいます。

先般八月二日には、秋葉区文化会館にて四校の教職員が一堂に会し、幼小中合同研修会を実施し、行動連携の具体を確認しました。教職員同士も地域の方々も、お互いを知ること、「顔が見える関係」を築くことこそが連携の二丁目一番地であり、子どもの成長に不可欠な土台であると考えています。

### 「第29回荻川地区市民ゴルフ大会兼表彰式」開催

令和6年7月8日(月)に豪雨のなかでしたが、総勢57名(最高年齢81歳、最少年齢42歳、平均年齢68歳)の参加にて「新津カントリクラブ」で、開催されました。また、表彰式も荻川コミセン分館大会議室にて、別添協賛各社(個人含)からの協賛金(16社)、協賛品(3社)によって、

優勝：坂爪健二氏・準優勝：栗林武雄氏、3位：中村清氏、コミ協賞：澁谷義明氏、大会記念賞：渡辺茂氏、新津CC賞：木沢秀和氏、ジャンボゴルフ賞：曾我和寿氏など、その他各賞飛賞を多数の方々が表彰されました。最後にコミ協中村副会長より大会を締め切りました。



- 「協賛各社」
1. 株式会社 秋葉自動車
  2. セブイレブン新潟秋島店
  3. 有限会社 新津ビル管理
  4. 有限会社 大野園芸
  5. 林モーターサイト
  6. 有限会社 本間モーターズ
  7. 有限会社 森田測量設計事務所
  8. 株式会社 第二住設サービス
  9. 和食処 伊右工門
  10. 手造りの味 ひよこ
  11. 石川一春 税理士事務所
  12. 株式会社 渡部重機
  13. 大橋銅鉄店 有限会社
  14. 朝比奈時計修理センター
  15. 株式会社 清新ハウス級建築士事務所
  16. ニイタジャンボゴルフ 御中
  17. 新津カントリクラブ 御中

### 荻川よみきかせの会七夕のつどい

荻川よみきかせの会では、恒例の七夕の集いを行いました。35名の良い子が集まり、楽しい一日となりました。思いを込めて短冊に書いた言葉は何でしょう? 願いが叶うと良いですね!

8月3日(土)17時30分からこがね町公園で開催しました。日中、神輿や山車は中止として、納涼会の開催のみとなりました。納涼会では子ども会によるダンスショー! スーパーボール投げ、射的、青年部は焼き鳥、フランクフルトの販売、女性部はト汁・焼きそば、鶏の唐揚げ等で盛り上げてくれました。

最後に盛り上がったのがビンゴゲーム大会です。リーチになつてからなかなかビンゴにない中、まだかなあーと待ちわびた人がいました。大勢の皆さんに助けを借りて、手作りの祭りを通して、人付き合いの大切さを感じた祭りでした。最後に準備に当たって頂いた、子ども会青年部・女性部の皆さん準備後片付けに感謝申し上げます。ありがとうございました。

こがね町夏まつりを開催



### 中野町内でしめ縄を作つて 四十四年

中野二丁目の松本守さん宅では、しめ縄を作り続けて四十四年、近隣の皆様のお力をお借りしてこの猛暑の中、年末に向けて作業しております。九月より本格的に制作開始です。現在は青刈りした稲の選別作業中です。

青刈り用の稲は、R403の桜並木近くの田んぼで田植えをし、ひまわりの咲くころに青刈りをします。近年、外国産のしめ縄が増えておりますが品質の良い「メイドインジャパン」のしめ縄を皆様の神棚に飾って頂けるよう従業員の皆様共々頑張っております。



前月号に掲載しました。カメさんの落とし主が現れました。カメさんの落とし主の場所からコミセン前横断歩道迄の距離を見ますと、直線で百五十メートル以内の距離でしょうか? よくも交通事故に遭うこともなくトコトコと歩いて行ったのでしようか? 無事に飼い主さんに戻って一安心です。おまけにコミセン事務局の方から頂いた子ガメさんと一緒に帰りました。



## 混合ダブルス卓球大会 荻川卓球クラブ

荻川卓球クラブは日頃の練習の成果と会員の益々の親交を深めるため、7月17日(水)18日(木)に混合ダブルス卓球大会を開催しました。2日間で延べ50人が参加し、一試合ごとにペアが変わるという面白い企画で蒸し暑い体育館の中で大汗をかきながら、大声援のなか真剣にまた和気あいあいと楽しいひとときを過ごしました。



## 自転車に乗るときはヘルメットを着用！ 信号機の無い横断歩道では歩行者優先！

自転車に乗るときは、必ずヘルメットを着用しましょう！新潟県での着用率は全国ワースト1位です。ヘルメット非着用で自転車事故により亡くなった人の約5割は頭部に致命傷を負っていること、また、ヘルメット非着用時の致死率は、着用時と比べて約2倍も高くなっていることから、自転車事故による被害を軽減するためには、ヘルメットの着用により頭部を守ることが大変重要です。

ドライバーは、横断歩道を渡っている、または渡ろうとする歩行者がいる場合は一時停止をしなければなりません。また、横断する歩行者がいないことが明らかな場合のほかは、横断歩道の手前で停止できるような速度で運転しなければなりません。

これらを守らなかった場合は、横断歩行者等妨害等違反になります。これは、信号機のない横断歩道においても同様です。

ウインカーは曲がる前30mで出しましょう。

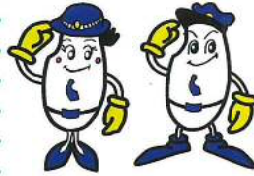


新潟県では  
どちらも  
ワースト1位

## お知らせ・情報・会員募集コーナー

### ..... 荻川交番だより ..... 交番からのお願い

制服警察官が、秋葉警察署管内のコンビニエンスストア・スーパーマーケット・ドラッグストアなどの店舗へ、パトカーでの立ち寄り警戒や防犯指導を実施した際、店舗や自動販売機で食料品や飲料品、熱中症予防商品を購入することがあります。  
皆様のご理解をよろしくお願いいたします。



## 荻川小学校「地域と学校を語る会」

7月17日(水)に荻小校区の自治会・町内会の皆様とPTA会長、校長・教頭・教務主任で恒例の語る会が実施されました。

議題は、子供110番の家の追加・修正、各自治会・町内会での夏休み期間中の行事について情報共有等のフリートーク形式で実施されました。



## 編集後記

「広報 おぎかわ」  
話題・情報提供のお願い  
総務部では読みやすく、より皆様に親しまれる広報作りを心掛けています。  
町内会行事など身近な話題、耳寄りな情報やイラスト、写真など気軽に下記へお寄せください。  
◆提供先 コミ協事務局(総務部)  
TEL 24-5776

荻川に住むこと約30年、今年初めて「広報おぎかわ」の編集委員を担当することになりました。色々教えてもらいながら、しっかりと努めたいと思います。  
今年の夏は昨年引き続き暑い夜が続いています。日課として朝の散歩も渋々の状況でスタートです。  
散歩中、家庭菜園をみると夏野菜のオンパレードで、ナス・ピーマン・フルーツトマト・ししとう・オクラ等々が、順調に生育し昨年よりも美味しくなれと言わんばかりです。  
日々散歩をしていると街の変化を色々と感じることが出来ます。このようなちよつとした気づきを「広報おぎかわ」の編集に役立てていきたいと思っています。

(S)